

資料編

用語集

用語	意味
ア行	
アプリ	アプリケーションの略で、パソコンやスマートフォン、タブレット端末等でメール・動画・音楽視聴等、作業の目的に応じて使うソフトのこと。
オープンデータ	機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータのこと。人手を多くかけずにデータの二次利用を可能とし、許可されたルールの範囲内で自由に複製・加工や頒布などができるデータを指す。
オンライン	インターネット等のネットワークにつながっている状態のこと。ネットワークに接続されてデータの通信が行われ、サービスの享受が可能な状態を示す。
カ行	
ガバメントクラウド	政府共通のクラウドサービスの利用環境であり、行政に関わる業務システムを政府が採択したクラウド上の基盤に構築し、共通化・標準化した上で監視運用できるようにしたもの。業務効率化やスムーズなデータ連携、住民サービスの利便性向上を目指している。
キャッシュレス化	クレジットカードや、交通系や流通系の電子マネー、バーコードやQRコードを介したコード決済等を利用して、紙幣・硬貨といった現金を使わずに支払い・受取を行う決済方法にシフトすること。
クラウド	データサービスやインターネットに関連するサービス等がネットワーク上のサーバ群にあり、利用者は自分のコンピュータでデータを加工・保存することなく利用することができるネットワークの利用形態を指す。利用者は、必要なときに必要な量のサービスにアクセスすることができ、また随時終了することができる。
コンピュータウイルス	スマートフォンやパソコンを誤作動させることや情報を盗むことを目的に、悪意を持って作られたプログラムのこと。
サ行	
最適化	組織全体の業務やデータ等を事前に標準化し、これに基づいて情報システムを構築することで無駄を無くす取組のこと。

用語	意味
サービスデザイン	利用者がサービスの利用を通して得られる、利用者の体験価値の側面を重視すること。利用者の視点から事業やサービスを体系的に見直し、新しいサービスを生み出す取組のことを指す。
サイバー攻撃	インターネットやデジタル機器を用いて、個人や組織を対象に、金銭の窃取や個人情報の詐取、システムの機能停止等を目的に行われる攻撃のこと。
自治体DX	自治体が最新のデジタル技術を活用して、提供するサービスを変革させることを指す。マイナンバーカードの普及促進や、行政手続のオンライン化等が代表的なものとして挙げられる。
情報セキュリティ	情報資産（データや個人情報等）を安全に管理し、適切に利用できるように運営する経営管理のこと。適切な管理・運営のためには、情報の機密性・安全性・可用性が保たれていることが必要となる。
情報通信機器	通信機能が付いた、デジタルデータを扱うことのできる機器全般を指す。代表的なものとしてはパソコン、スマートフォン、タブレット端末等が挙げられる。
情報リテラシー	情報を適切に判断し、情報を通じて決定を下す能力のこと。デジタル技術の活用や、悪用からの被害防止等を含む、デジタル社会に必要な基礎的な能力を指す。
スマートフォン	従来の携帯電話に比べて、パソコンに近い性質を持った情報機器のこと。電話機能等に加え、画面がタッチパネルになっているため、画面に触れ直接的な操作を行うことで、インターネットや動画を閲覧することができる。また、従来の携帯電話端末と比較し、利用者が使いたいアプリケーションを追加することによって機能を追加することができる。
スマート窓口	窓口手続きの際、マイナンバーカード等から氏名・住所等を読み取り、窓口のタブレット端末から設問に回答することで、申請書や届出書等を簡単に作成できる。また、来庁前に自宅等で事前に手続をすることで、待ち時間を短縮することができる。
タ行	
タブレット端末	画面にタッチして操作することができる情報機器のことで、スマートフォンと同様の操作感で使用することと比較的畫面が大きいことが特徴である。その大きさや用途から、パソコンとスマートフォンの中間的存在であり、インターネット検索や動画視聴等に加え、仕事での活用等、様々な用途に用いることができる。
デジタルデバインド	インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる情報格差のこと。社会のデジタル化

用語	意味
	が進むにつれ、情報を適切に入手できる層と入手できない層の格差が広がり、問題視されるようになった。
テレワーク	情報通信技術等を活用し、普段仕事を行う事業所・仕事場とは違う場所で仕事をする。場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことを指す。
ナ行	
ぴったりサービス	オンラインで手続の検索や書類作成、電子申請ができるシステムのこと。子育てに関する手続をはじめ、様々な申請や届出を地域別に検索し、電子申請を行うことができる。
ハザードマップ	自然災害による被害を予測し、その被害範囲、避難場所等の情報を表示することで、災害による被害の軽減、防災対策に活用するための地図。
ペーパーレス	パソコンやタブレットを活用し、紙媒体や印刷の利用を減らすこと。紙で保存していた書類をデジタル化することで、業務効率の改善やコスト削減が見込まれる。
マ行	
マイナポータル	マイナンバーカードを持っている人が行政手続を一元的にインターネット上で行うことができるよう、国が整備・活用を進めているサービスのこと。
マイナンバーカード	マイナンバーが記録されたICカードのこと。本人確認に加えて、コンビニでの各種証明書交付や健康保険証としての利用等様々な利用が可能である。
ラ行	
リモートワーク	情報通信技術等を活用し、普段仕事を行う事業所・仕事場とは違う場所で仕事をする。テレワークと同様の概念ではあるが、オフィス以外の場所で働くことの意味合いが強い。
ワ行	
ワンストップ(サービス)	複数の部署や窓口に分かれている行政手続を一度に又は一か所でできるように利便性を高めること。二度手間が起らないよう、行政手続に関する情報提供の充実や手続きの簡素化を推進することを含む。
英語表記	
AI	Artificial Intelligence の略で、学習等の人間の知的能力をコンピュータ上で実現する技術のこと。問題解決や検討を主として、人工的な方法による学習、推論、判断等の機能によって、様々な分野で活用されている。

用語	意味
DX	デジタルトランスフォーメーションの略で、デジタル技術を活用することにより、仕事の進め方やサービス提供、ビジネスモデルのあり方等を、より良いものへと変革することを指す。
eLTAX	地方税ポータルシステムの呼称であり、地方税における申告から納税までの手続をインターネットを利用して行うシステムのこと。地方公共団体が共同で運営するシステムであり、それぞれの地方公共団体に対する、手続をオンラインで完了することができる。
GIS	地図情報を用いたシステムのこと。地理的位置を手掛かりに、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術である。
ICT	Information and communications technology の略であり、情報技術（IT）を拡張した用語として、通信技術を使用し、人とインターネット、人と人がつながる技術のことを指す。
IoT	Internet of Things の略で「モノのインターネット」と訳されている。様々な「モノ」がインターネットに接続され、情報交換することにより、これまで埋もれていたデータを処理、分析、連携することが可能になる。IoTの技術を活用することで、これまでに無かった、より高い価値やサービス生み出すことが可能になる。
IT	Information technology の略であり、情報を取得、加工、保存、伝送するための技術のこと。コンピュータをベースとした情報関連システムや、アプリケーション、ソフトウェアが主に該当する。
LINE	スマートフォン等で、利用者同士でメッセージのやり取り、通話等を行うことができるアプリのことを指す。
OCR	Optical character recognition の略で、活字や手書きの文字をカメラやスキャナ等でデータとして取り込み、パソコン等で利用できるよう文字データに変換する技術のこと。AIを利用した「AI-OCR」では、人工知能技術により文字認識精度が向上している。
RPA	Robotics Process Automation の略で、ロボットによる業務自動化のこと。これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化する。
SNS	インターネット上での交流を支援する、Instagram、X（旧Twitter）、Facebook等の様々なサービスの総称のこと。写真や文章を共有することで、コミュニケーションを行うことができる。

用語	意味
SDGs	Sustainable Development Goals の略で、「持続可能な開発目標」の意味合いとなる。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指し、平成27年（2015年）の国連サミットで採択された。令和12年（2030年）までに達成すべき17の目標によって構成され、経済・社会・環境を包含する世界共通の目標である。
SDGs日本モデル宣言	令和元年（2019年）1月に神奈川県が主催の「SDGs全国フォーラム2019」において発表された、地方自治体が国や企業、団体、学校・研究機関、住民等と連携してSDGsを推進し、地域の課題解決と地方創生を目指していく考え・決意を示す宣言。
Society 5.0	内閣府の第五期科学技術基本計画にて定義された、「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）」のこと。情報社会（Society 4.0）に続く新たな社会の姿と位置付けられており、現在の情報社会が抱える課題や困難を克服し、「人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送る人間中心の社会」を目指している。
Web会議	遠隔地同士でインターネットを通じて映像・音声のやり取りや、資料の共有等を行うためのシステムのこと。インターネット環境とパソコンやスマートフォンといった端末を利用して会議等を行う。
Wi-Fi	ケーブル線の代わりに無線通信（国際標準規格であるIEEE802.11規格）を利用してデータの送受信を行う規格のこと。パソコンやテレビ、スマートフォン等のネットワーク接続に対応した機器を無線で接続する技術を指す。
5G（第5世代移動通信システム）	携帯電話等に代表される移動通信システムの第5世代のこと。第4世代（4G）と比較し通信の高速・大容量化、それに加えて低遅延、多数接続の特徴を持った通信を指す。

市民アンケート調査

(1) 市民アンケート調査概要

調査方法

実施期間	2023 年 10 月 12 日～2023 年 10 月 27 日
対象	三郷市民(無作為抽出した1500名)
調査方法	郵送による自記入方式
回答数	428 件(回収率:28.5%)

調査項目

回答者の属性	性別
	年齢
	職業
	お住まいの地域
	居住年数
	就学先・勤務先
	市の満足度
情報通信機器の利用状況	情報通信機器の利用状況
	利用しているインターネットサービス
	情報通信機器の利用に当たっての不安
三郷市提供の電子的な行政サービスについて	電子的な行政サービスの利用状況の確認 ・三郷市公式ホームページ ・三郷市メール配信サービス ・三郷市公式 SNS ・三郷市公式アプリ「ポケットみさと」 ・コンビニ交付 ・三郷市電子申請・届出サービス ・まんまるよやく(公共施設予約案内システム) ・三郷市スマート窓口 ・三郷市電子図書館
	追加して欲しい行政サービス
	オンライン申請ができるとよい行政手続き
	できるとよいデジタル技術活用サービス
	その他ご意見
今後に向けた行政サービスについて	できるとよいデジタル技術活用サービス その他ご意見

2-2 普段利用しているインターネットサービスについてお答えください

(当てはまる数字全てに○) (インターネットを利用していない方は選択肢 13 のみに○)

1. ホームページやブログ等の閲覧、情報検索(天気情報、ニュースサイト、地図等)
2. メッセージングサービス(LINE等メッセージ送受信アプリ)
3. 電子メールの送受信
4. SNS(Instagram、X(旧Twitter)、Facebook等)
5. 動画投稿・共有サイト(YouTube、TikTok等)
6. 動画配信サービス(Amazonプライム・ビデオ、Netflix、TVer等)
7. オンラインショッピング(商品・サービスの購入・取引)
8. オンラインゲーム・スマホゲーム
9. インターネットバンキング(銀行の振込や残高照会、証券取引など)
10. オンライン会議
11. 公的サービス(税の申告(e-Tax、eLTAX)や市への申出・請求)
12. その他()
13. インターネットを利用していない

2-3 情報通信機器の利用に当たって、不安・心配なことはどんなことですか

(当てはまる数字全てに○)

1. 個人情報の漏えい・個人情報の悪用
2. コンピュータウイルス感染、スマートフォン等の乗っ取り等、犯罪に巻き込まれること
3. スマートフォンやインターネット等を使いこなせないと、新しいサービスを利用できないこと
4. 困った時に教えてくれる人が周りにいないこと
5. 違法・有害情報等が子供等への悪影響となること
6. インターネットによって人と人との関係が疎遠になること
7. その他()

設問3 三郷市が提供している、電子的な行政サービスについてお伺いします

3-1. 三郷市が提供している、以下の電子的な行政サービスを利用しているかについてお聞きます
(当てはまる数字1つに○)「1. 利用している」を選んだ方は、使用した感想や、ご意見等がございましたらご記入ください「2. 知っているが、利用していない」を選んだ方は、その理由やご意見等がございましたらご記入ください

(1) 三郷市公式ホームページ

1. 利用している
2. 知っているが、利用していない
3. 知らない

「1.」「2.」を選んだ方は、ご意見等がございましたらご記入ください

(2) 三郷市メール配信サービス

1. 利用している
2. 知っているが、利用していない
3. 知らない

「1.」「2.」を選んだ方は、ご意見等がございましたらご記入ください

(3) 三郷市公式 SNS (X (旧 Twitter)・Facebook・YouTube)

1. 利用している 2. 知っているが、利用していない 3. 知らない

「1.」「2.」を選んだ方は、ご意見等がございましたらご記入ください

(4) 三郷市公式アプリ「ポケットみさと」

1. 利用している 2. 知っているが、利用していない 3. 知らない

「1.」「2.」を選んだ方は、ご意見等がございましたらご記入ください

(5) コンビニ交付（住民票等の各種証明書をコンビニエンスストアの端末から取得できるサービス）

1. 利用している 2. 知っているが、利用していない 3. 知らない

「1.」「2.」を選んだ方は、ご意見等がございましたらご記入ください

(6) 三郷市電子申請・届出サービス

1. 利用している 2. 知っているが、利用していない 3. 知らない

「1.」「2.」を選んだ方は、ご意見等がございましたらご記入ください

(7) まんまるよく（公共施設予約案内システム）

1. 利用している 2. 知っているが、利用していない 3. 知らない

「1.」「2.」を選んだ方は、ご意見等がございましたらご記入ください

(8) 三郷市スマート窓口

1. 利用している 2. 知っているが、利用していない 3. 知らない

「1.」「2.」を選んだ方は、ご意見等がございましたらご記入ください

(9) 三鄉市電子圖書館

1. 利用している 2. 知っているが、利用していない 3. 知らない

「1.」「2.」を選んだ方は、ご意見等がございましたらご記入ください

--

3-2. その他、追加して欲しい行政サービス等、ご意見等がございましたらご記入ください

3-3. オンライン申請ができるようになると良いと思う行政手続きはなんですか
(当てはまる数字全てに○)

1. 研修・講習・各種イベント等の申込
2. 放課後児童クラブ(学童保育)申請受付
3. 市の施設やインフラの修繕依頼受付
4. 道路占用許可申請
5. 粗大ごみの収集の申込
6. 職員採用試験の申込
7. その他()

設問 4 三郷市の今後に向けた行政サービスについてお伺いします

4-1. デジタル技術を活用して、どんなことができるとよいと考えますか
(当てはまる数字全てに○)

1. 防災での活用：市から迅速な防災情報、災害発生時の避難情報等の提供を行う
2. 防犯での活用：防犯カメラの設置拡充や、住民の安全安心に向けた情報の提供を行う
3. 医療での活用：遠隔で健康相談や健康診断・診療を行う等、医療での活用を行う
4. 福祉での活用：子供や高齢者が安心して暮らせるよう、見守りの仕組みを導入し安全を確保する
5. 教育での活用：導入済みタブレットの更なる有効活用、小中学校教員の事務作業を効率化等、教育に関する活用を行う
6. 情報発信での活用：市に関する情報を一元的に発信するポータルサイトの作成や市 HP の拡充・更改を行う
7. 行政での活用：行政手続きのオンライン化を進め、効率的・効果的な行政を推進する
8. 施設利用での活用：インターネットで公共施設の予約等、市の設備に関する手続を拡充する
9. 観光での活用：海外の観光客が三郷市を訪れやすいよう、観光情報提供の拡大を行う
10. その他（ ）

4-2. 以上の中で最も必要だと思うものを選び、番号を記入してください→ ()番

4-3. その他、本市の DX の推進に当たって、ご意見等がございましたらご記入ください

ご協力ありがとうございました

職員アンケート調査

(1) 職員アンケート調査概要

調査方法

実施期間	2023 年 10 月 16 日～2023 年 11 月 7 日
調査方法	ウェブフォームを用いたアンケート
回答数	383 件

調査項目

回答者の属性	職員コード
研修について	受講の有無、理解度
所掌する業務に関連し"職務の非効率な側面"	時間的な側面 空間・物理的な側面 コミュニケーションにまつわる側面
DX 導入により想定される効果	市民満足度の向上の側面 業務の効率化の側面
今後に向けて	対市民向けサービスにおけるデジタル技術活用 DX の効果的な推進を全庁的に進めるうえで重要と考えられること

(2) 調査票

質問文	選択肢
職員コード	
[研修について] あなたの受講した研修について記入してください。	1.管理職向け を受講した 2.一般職員向け を受講した 3.未受講
(研修を受講した方に伺います) 研修を受けて、DX 推進の必要性について、理解できましたか？	1.大変よくわかった 2.よくわかった 3.ふつう 4.あまりよくわからなかった
現状のあなたの所掌する業務に関連し"職務の非効率な側面"について教えてください。 (以下の項目それぞれについて回答) 1.同じ内容や対応を繰り返す 2.特定の時間帯に業務が集中する 3.特定の曜日や月末/月初等に業務が集中する 4.特定の月や季節に業務が集中する 5.紙の書類を頻繁・大量に保管する 6.紙の書類から過去の情報を頻繁に参照する 7.出先機関や出張(含む市外)への移動を伴う 8.現場や屋外等での対応を伴う 9.対面での打ち合わせ 10.電話対応 11.メール対応 12.郵便対応(発送) 13.郵便対応(受領) 14.引継ぎや共有のための資料作成 15.現場や屋外等での現場確認 16.複数の端末(PC等)間の移動	1.とても多い 2.多い 3.あまり多くない 4.全く多くない 5.その他・分からない
DX 導入により想定される効果について伺います。あなたの所掌する業務から見て、以下の取り組みは、市民満足度の向上の側面に対し、効果が期待できると考えられますか？	①情報システムの標準化・共通化(「基幹系システムの標準化」) ②マイナンバーカードの普及促進 ③行政手続のオンライン化(「マイナポータル等を活用した電子申請の拡充」等) ④AI・RPA の利用推進(大量の申請情報入力業務の自動化等) ⑤テレワークの推進(場所や時間にとらわれない柔軟な働き方) ⑥セキュリティ対策の徹底 ⑦デジタル田園都市国家構想の実現に向けたデジタル実装(「仕事をつくる」、「人の流れをつくる」等) ⑧デジタルデバйд対策(「不慣れな方々へのサポート」、「高齢者へのサポート」等) ⑨デジタル原則に基づく条例等の規制の点検・見直し(「対面・書面ルールの見直し」等) ⑩BPR の取組の徹底(職務や業務フロー等の見直し) ⑪オープンデータの推進・官民データ活用の推進(「観光ビッグデータを活用した施策検討」等) ⑫クラウドサービスの積極的な利用

質問文	選択肢
DX 導入により想定される効果について伺います。あなたの所掌する業務から見て、以下の取り組みは、業務の効率化の側面に対し、効果が期待できると考えられますか？	①情報システムの標準化・共通化（「基幹系システムの標準化」） ②マイナンバーカードの普及促進 ③行政手続のオンライン化（「マイナポータル等を活用した電子申請の拡充」等） ④AI・RPA の利用推進（大量の申請情報入力業務の自動化等） ⑤テレワークの推進（場所や時間にとらわれない柔軟な働き方） ⑥セキュリティ対策の徹底 ⑦デジタル田園都市国家構想の実現に向けたデジタル実装（「仕事をつくる」、「人の流れをつくる」等） ⑧デジタルデバйд対策（「不慣れな方々へのサポート」、「高齢者へのサポート」等） ⑨デジタル原則に基づく条例等の規制の点検・見直し（「対面・書面ルールの見直し」等） ⑩BPR の取組の徹底（職務や業務フロー等の見直し） ⑪オープンデータの推進・官民データ活用の推進（「観光ビッグデータを活用した施策検討」等） ⑫クラウドサービスの積極的な利用
対市民向けサービスについて、デジタル技術を活用して、どんなことができるようになりますか。	1.防災での活用：市から迅速な防災情報、災害発生時の避難情報等の提供を行う 2.防犯での活用：防犯カメラの設置拡充や、住民の安全安心に向けた情報の提供を行う 3.医療での活用：遠隔で健康相談や健康診断・診療を行う等、医療での活用を行う 4.福祉での活用：子供や高齢者が安心して暮らせるよう、見守りの仕組みを導入し安全を確保する 5.教育での活用：導入済みタブレットの更なる有効活用、小中学校教員の事務作業を効率化等、教育に関する活用を行う 6.情報発信での活用：市に関する情報を一元的に発信するポータルサイトの作成や市 HP の拡充・更改を行う 7.行政での活用：行政手続きのオンライン化を進め、効率的・効果的な行政を推進する 8.施設利用での活用：インターネットで公共施設の予約等、市の設備に関する手続を拡充する 9.観光での活用：海外の観光客が三郷市を訪れやすいよう、観光情報提供の拡大を行う
DX の効果的な推進を全庁的に進めるうえで、特に重要と考えられることとして、どのようなことが考えられますか？ （以下の項目それぞれについて回答） 1.DX 推進に向けた庁内の理解・雰囲気の醸成 2.DX にまつわる庁内の人材育成 3.DX にまつわる専門的な知見 4.他部署と効果的な連携 5.予算強化、柔軟化 6.導入効果の「見える化」 7.他自治体成功事例等の研究	1.とてもそう思う 2.そう思う 3.あまりそう思わない 4.全くそう思わない 5.その他・分からない

関連団体等アンケート調査

(1) 関連団体等アンケート調査概要

調査方法

実施期間	2023 年 10 月 23 日～2023 年 11 月 10 日
調査項目	1. 現状と課題 貴団体が現在抱えるデジタル化に関する主な課題 2. 「市民の利便性向上」や「業務効率化の観点」から、あったら良いと思われるデジタル化施策 3. デジタル技術を活用したサービスの取組状況・今後の実施予定等

(2) 調査票

三郷市 DX 推進のためのアンケート調査 ご協力をお願い (企業・団体アンケート・調査票)		
大項目	中項目	記入欄
ご回答いただいた かたの情報	(1)団体・企業名	
	(2)ご所属	
	(3)お名前	
	(4)連絡先(メールアドレス等)	
1. 現状と課題	貴団体が現在抱えるデジタル化に関する主な課題について簡単にご教示ください。	
2. あったら良いと思うデジタル化施策	市民の利便性向上や業務効率化の観点から、あったら良いと思われるデジタル化施策があればご教示ください。 ※「デジタル化施策の例」は、次ページを参照ください。	
3. 今後の取り組み	デジタル技術を活用したサービスの取組状況・今後の実施予定等あればご教示ください。	

※記載イメージは、P.3 以降をご参照ください。

※既存の資料等を用いてご回答いただいても構いません。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

※資料にご記入の上、11 月 10 日までに、下記のメールアドレスまで返信をお願いいたします。

庁内ヒアリング調査

(1) 庁内ヒアリング調査概要

アンケート調査方法

アンケート配付日	2023 年 11 月 9 日
ヒアリング実施期間	2023 年 12 月 12 日～2023 年 12 月 13 日

調査項目

課・系の現状と課題	課・系の業務方針・重点的に取り組んでいる事項
	市民への行政サービス提供における現状の問題点・課題
	業務推進・効率化の観点から見た現状の問題点・課題
三郷市総合計画に示す将来都市像の実現に向けた取組について	現在取組中の分野別計画および理念について
	デジタル技術を活用した行政サービスの取組について
	デジタル技術を活用した行政サービスのアイデアについて
三郷市の DX 推進計画の策定に向けて	分野別の計画等を推進する上で、DXに求める役割について
	今後DXを推進していく上での、理念や方向性について
	今後DXを推進していく上での、期待について
その他	その他、市のDX推進に向けてご意見やお気付きの点

(2) 調査票

三郷市 DX 推進計画に係る各課ヒアリング 事前調査票		
課名	係名	記入者名
1. 課・系の現状と課題 <u>(DX に直接関しないことでも問題ありません)</u> 各課・各係における業務方針・取組事項と、業務遂行上の課題を簡潔にご記入ください。		
1-1	課・系の業務方針・重点的に取り組んでいる事項	
1-2	市民への行政サービス提供における現状の問題点・課題	
1-3	業務推進・効率化の観点から見た現状の問題点・課題	

1

2. 三郷市総合計画に示す将来都市像の実現に向けた取組について

「第5次三郷市総合計画」は、本市の将来都市像を示すと共に、総合的かつ計画的な行政運営を担うための最上位計画です。将来都市像「『きらりとひかる田園都市みさと』～人にも企業にも選ばれる魅力的なまち～」の実現に向け、7つの「まちづくり方針」と3つの「経営方針」に基づき、まちづくりの取組の方向性を示しています。

2-1. 現在取組中の分野別計画および理念について

第5次三郷市総合計画における将来都市像の実現に向け、各課・各係において現在取組中の分野別計画や、それに類する計画、また理念や方向性（将来的なビジョン）等が有りましたらご記入ください。

現在取組中の分野別計画：

理念や方向性、将来的なビジョン等：

2-2. デジタル技術を活用した行政サービスの取組について

上記、分野別計画等の実現に向け、現在取組中あるいは近いうちに実施することを予定している、デジタルを活用した行政サービス（施策）についてご記入ください。

- | | |
|---|---|
| ① | <p>【取組中（または実施予定）のデジタルを活用した施策】</p> <p>■名称（施策名・システム名等）
：</p> <p>■時期（年度・月）
取組予定時期：
目標年次・実施完了時期：</p> <p>■実施内容
：</p> <p>■現在の検討状況
：</p> <p>■課題等
：</p> |
|---|---|

② 【取組中（または実施予定）のデジタルを活用した施策】

■名称（施策名・システム名等）

：

■時期（年度・月）

取組予定時期：

目標年次・実施完了時期：

■実施内容

：

■現在の検討状況

：

■課題等

：

＊記載枠が足りない場合（項目が3件以上）は、適宜「コピー&貼付」により追加してご記載ください。

2-3. デジタル技術を活用した行政サービスのアイデアについて

そのほか、取り組むと良いと思われるデジタル技術を活用した施策をご提案ください。

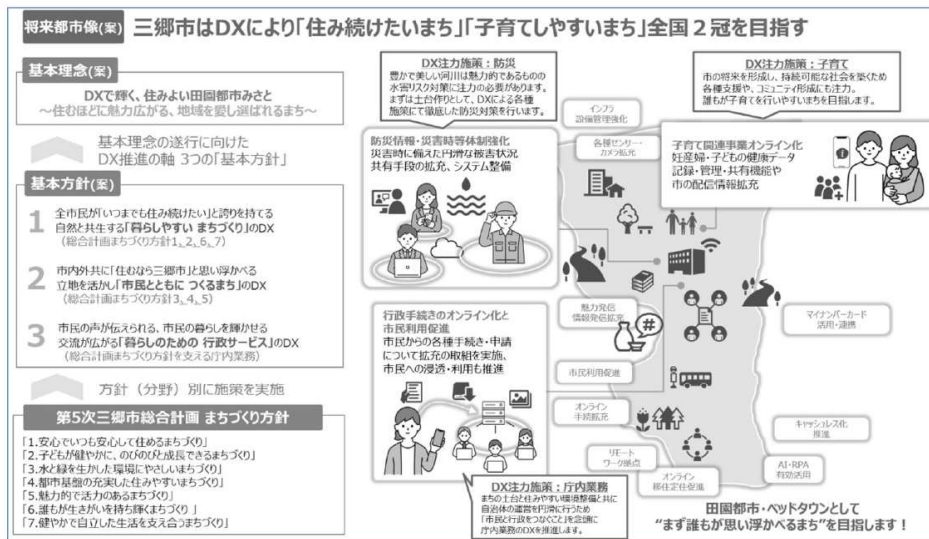
業務効率化に役立つシステム、デジタル技術の利活用に関するアイデア、必要な機能等、あまり厳密なものではなく、「このような仕組みがあると便利になる」といったイメージのご回答でも結構です。

3. 三郷市の DX 推進計画の策定に向けて

国の「デジタル社会の実現に向けた重点計画」（2023 年 6 月閣議決定）では「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」を目指しています。

本市においても、各分野についてデジタル技術を取り入れながら効果的に取り組み、魅力的なまちづくりを実現するため、「(仮称)三郷市DX推進計画」の策定に向けた取組を進めています。

計画の目指すイメージ・将来都市像・基本理念等（案）



3-1. 分野別の計画等を推進する上で、DXに求める役割について

分野別計画の推進、ならびに業務遂行・効率化のためには、デジタル技術を導入するだけでなく、主体的に業務を見直していくこと（DXの取組）が重要となります。

今後のデジタル技術の活用に向けて、また DX の取組に関して求める機能・役割について
のご意見がありましたらご記入ください。

「デジタル技術活用に向けた庁内横断の取組の強化」や「各課のデータの共有・分析（データ活用）の推進」、「更なるデジタル人材育成」等、あまり厳密なものではなく、イメージレベルのご回答でも結構です。

3-2 今後 DX を推進していく上での、理念や方向性について

「(仮称) 三郷市DX推進計画」の策定に向け、前ページの計画イメージ図(案)をご参照いただき、計画の理念や方向性についてご意見がありましたらご記入ください。

3-3. 今後 DX を推進していく上での、期待について

DX 推進に関して各課・各係として(または分野全体を代表して)期待すること等のアイディアがありましたらご記入ください。

4. その他

その他、市の DX 推進に向けてご意見やお気づきの点がございましたらご記入ください。



三郷市DX推進ビジョン

発行 三郷市 令和6年3月

編集 三郷市企画政策部情報政策課

〒341-8501

埼玉県三郷市花和田 648-1

TEL:048-930-1111(代表)

FAX:048-954-3027

URL:<https://www.city.misato.lg.jp/>